

令和3年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
2	14	佐野和彦 議員	1 / 1	
発言項目		要 旨		答弁者
1	おいしい給食のススメ	<p>我が富士宮市では、食育と食のまちづくりを推進する施設として、平成29年4月から新しい学校給食センターから給食の提供を開始した。食物アレルギー対策や栄養バランスを考えて作られているが、児童生徒が給食を楽しみに学校生活を送ることは理想であり、また、食べ残しがない給食作りは、後の処理にも影響がある。おいしい給食を作るため、より一層の努力が必要となるが、子どもたちの笑顔のために以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 限られた予算の中で給食を作らなければならないが、安くておいしい給食を作るためにどのようなことを心がけているか。 (2) 学校給食の食べ残し量の推移を伺う。 (3) 子どもたちの意見を、どのように調理委託業者である東洋食品に伝えているか。 (4) おいしい給食の在り方や、食育を啓発しながらの地産地消の奨励を目的として、全国学校給食甲子園が毎年行われている。当市も来年度から参加することを提案するが、検討できないか伺う。 (5) コロナ禍で学校給食センターの見学や、試食会が延期されているが、食育を象徴する施設として新型コロナウイルス感染症の収束後、一般市民を対象とした富士宮市の地場産品を使った試食会を企画できないか伺う。 		市長 副市長 教育長 関係部長
2	巣ごもりと虐待を考える	<p>世の中を新型コロナウイルス感染症が席卷してから3年目を迎えようとしている。これまで感染拡大を抑制するため、政府では緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を実施し、人流の抑制や3密の回避など、新しい生活様式を導入しながら不要不急の外出を抑制し巣ごもり状態となっている家庭が数多くある。ストレスを抱えた現代社会で、ストレスのはけ口に子どもや高齢者への虐待が多く報告されているが、市民の笑顔のためにどのような対策が取れるか伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) コロナ禍の中、本年度の虐待の傾向を分析すると、児童虐待や高齢者虐待の傾向はどのように変化しているか伺う。 (2) 富士宮市民の笑顔のために、家庭内のストレスを解放させる試みは行われるのか伺う。 (3) 家族の絆ほど強いものはないと思うが、虐待初期に家族以外の人に気づかせることはできないか伺う。 		市長 副市長 教育長 関係部長
3	部活動と外部指導者導入を考える	<p>学校の働き方改革で、令和5年度から学校部活動から地域部活動に移行させていくことが言われている。我が富士宮市でも休日の部活動について協議をしていると思うが、現段階で公立中学校の部活動について、どのようなことが課題となっているか、以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 現状はどのように話し合われているのか。 (2) 生徒数が減少している中、学校によっては人数不足で試合に出場できないなどの課題はあるのか。また、今後の見通しはどのようになっているのか。 (3) 外部指導者の導入について、どのようなことに注意し、学校とのコンタクトをとっていくのか。また、課題を解消するために先行してモデルケースなどを作ることは考えているか。 		市長 副市長 教育長 関係部長